

吸引式乳房組織生検について

☆デジタルブレストトモシンセシス下生検の特徴

- ・傷痕は5 mm 以下の傷で、縫合の必要はないため、乳房は変形しません
- ・局所麻酔をするので生検時の痛みもなく、検査時間は30分程度で終わります
- ・吸引システムにより、1回の穿刺で360度広範囲の組織を採取できます
- ・非触知病変に対しても、MMG(マンモグラフィ)で描出可能であれば確実に行えます

☆デジタルブレストトモシンセシス下生検の適応

- ・非触知石灰化病変で、US(超音波)で検出不能なもの
- ・良悪性の判定に迷う石灰化病変(ガイドラインのカテゴリ3~4)
- ・良性と思われるが、経過観察にあたり良性の確証を得たいもの
- ・MMG(マンモグラフィ)で癌が疑われるが、他の検査で癌の確定診断が得られないもの

☆吸引式組織生検のメカニズム

